

鹿児島大学附属図書館 自己点検・評価報告(概要)

1. 自己点検・評価実施の方針

(1) 附属図書館の自己点検・評価の位置づけ

本学における自己点検・評価の実施については、国立大学法人鹿児島大学評価実施規則においてその目的等が規定されていることから、本規則に基づき実施するものである。

(2) 附属図書館の目的、理念

附属図書館の自己点検・評価に際しては、先ず、大学図書館の目的、役割を明らかにする必要がある。一般に、大学図書館の目的は、学術情報・資料の提供を通じて大学における教育研究活動を支援することである。言い換えれば、学術情報・資料を収集し、研究者、学生に迅速的確に提供すると同時に、調査研究や自学自習のための快適な場を提供することである。それ故、附属図書館の自己点検・評価はその親組織である当該大学の理念・使命との関連において評価される必要がある。

鹿児島大学附属図書館は大学の法人化を契機に学内共同教育研究施設等として位置づけられたが、図書館の役割である「教育研究活動を支援する」という理念、使命は法人化後においてもいささかも変わるものではないことから、「鹿児島大学附属図書館は、鹿児島大学の基本理念に基づき、高等教育と学術研究活動を支える重要な学術情報基盤としての役割を担う」と定義したところである。

(3) 自己点検・評価の意義

自己点検・評価の意義は、図書館の活動を点検・評価した結果を、図書館の目的に照らして、改善、向上及び活性化に結びつけることである。単に、データを集め、まとめるだけでは効果が薄い。自己点検・評価の結果を踏まえて、新たな目標、事業計画を策定し、それを実現していく努力が必要である。自己点検・評価はこのことの不断の繰り返しでなければならない。自己点検・評価の対象として将来計画・事業計画が重要である所以である。

(4) 自己点検・評価の対象と範囲及び利用者評価の必要性

自己点検・評価の対象は、施設・設備、図書館資料（蔵書、受入数）、図書館サービス、管理・運営（予算、組織等）から広報・公開に至るまで多種多様であるが、図書館の自己点検・評価にあたっては、その結果が客観的に見ても妥当であることが必要であるとともに主たる利用者（学生、教員）の評価が最も重要であると考え、利用者アンケートを実施することとした。

2. 利用者アンケートの概要

(1)利用者アンケートの概要

1)アンケート方法

①調査対象

- ・ 教員：全員
- ・ 学生：各学部等の学部学生、研究科生の各学年（留学生を含む）及び、研究生、聴講生、専攻科生から無作為に抽出

②配布方法

- ・ 教員：学内便等で全員に配布。
- ・ 学生：履修登録時や授業の終了時に配布。

③回収方法

- ・ 各学部及び図書館で回収。
- ・ Web により回答。

2)実施スケジュール

- ①図書館から各学部へアンケート配布 9月27日～9月30日
- ②各学部等でアンケートを配布 10月1日～10月31日
- ③各学部及び図書館でアンケートを回収 10月1日～11月10日

3)回収率

①アンケート配布枚数 5,990 枚（教員は全員。学部生・院生は約 40%）を配布し、1,890 件（31.6%）の回答を得た。

身分別では、教員（31.5%）、学部生（30.5%）、院生（36.3%）の回答があり、分析評価するにあたり充分有効な結果であった。

(2)利用者アンケートの集計と処理

アンケートの集計については、以下のとおりの資料を作成し、附属図書館自己評価委員が、アンケートの数値データを元に分析・評価、課題・改善策等としてまとめることとした。

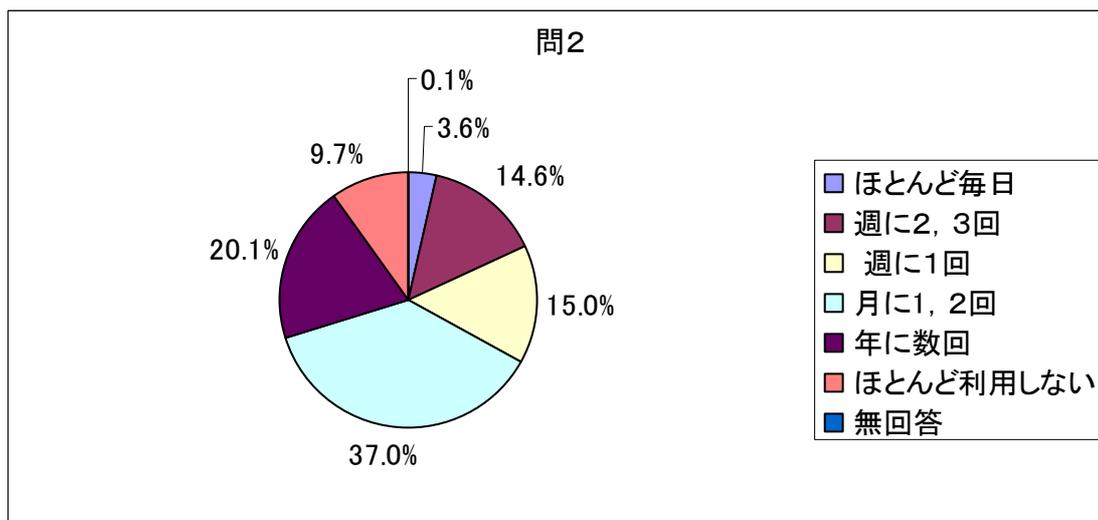
また、各設問に設定されたその他の自由意見については、自由記述編としてまとめることとした。

- 1)アンケート集計結果（問2～問11）
- 2)アンケート集計結果（問2～問11）自由記述編
- 3)アンケート集計結果（問12）自由記述編
- 4)アンケート集計結果（グラフ編）

※ 設問毎に分析・評価を行い、全体表については円グラフで、また、身分別表（教員、学部生、院生）については、棒グラフで表示しています。

3. 分析・評価

(1) 問2 あなたはどれくらいの頻度で図書館を利用していますか



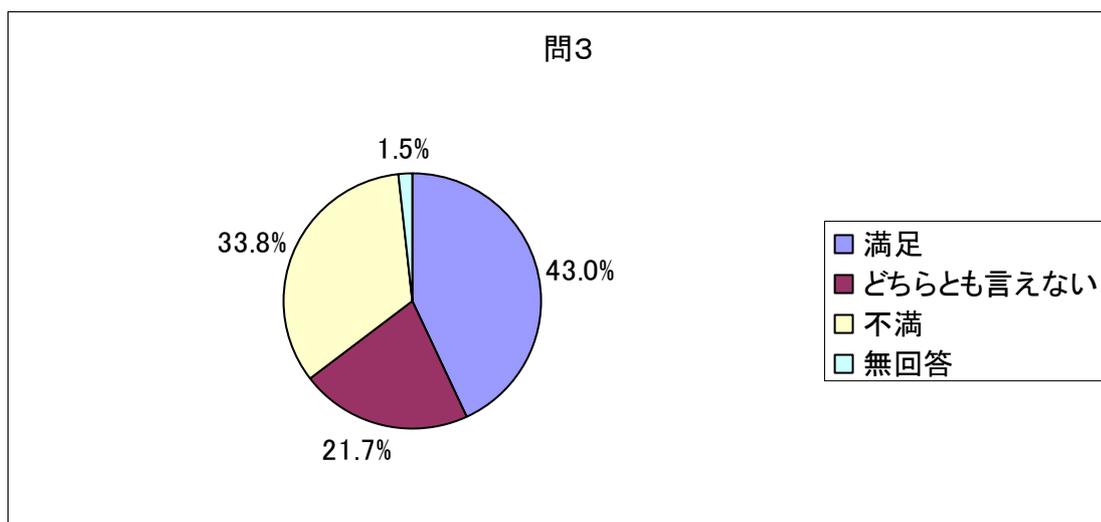
①利用頻度の内、身分を問わず最も多いのは「月に1,2回」が37.0%であり、週に1回以上を「利用する」、年に数回以下を「利用しない」と仮定すると、利用するが33.2%、利用しないが29.8%となり、概略すると利用する、たまに利用する、利用しないに3分割されるのが現状と言える。

②利用しないと回答した人の理由の内、「必要がない」が53.1%であり、「その他」として、電子ジャーナルやネットで代用できるとか研究室（学科）で事足りるとの理由が大半であることから、図書館サービスに不満があって「利用しない」のではないということが判明した。

(2) 問3 現在の開館日・開館時間についておたずねします

[開館状況]

中央図書館	[開館時間]	月～金曜日	9：00～20：00	(試験期9：00～21：00)
		土・日曜日	10：00～17：00	(試験期10：00～18：00)
桜ヶ丘分館	[開館時間]	月～金曜日	9：00～21：00	
		土・日曜日	10：00～18：00	
水産学部分館	[開館時間]	月～金曜日	9：00～20：00	
		土曜日	10：00～17：00	



①現在の開館日・開館時間について、教員と院生は過半数以上が満足しているのに対し学部生は43%のみであり、不満と回答した割合も33.8%と「どちらとも言えない」の21.7%を凌いでいることから、特に、学部生の不満の内容を検討する必要がある。

②不満の理由について、自由意見を大別すると以下のとおりである。

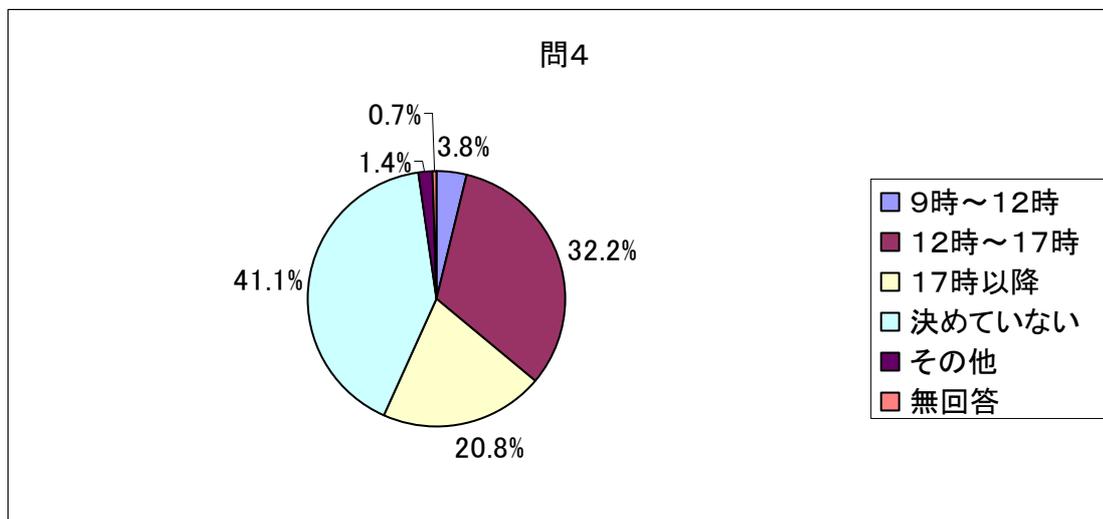
郡元キャンパス：土曜日、日曜日の開館時間延長、休業期の開館時間の延長、授業開始前に開館時間を早める希望が多い。

桜ヶ丘キャンパス：土曜日、日曜日、祭日の開館時間の延長と、平日21時以後の開館時間の延長希望が多い。

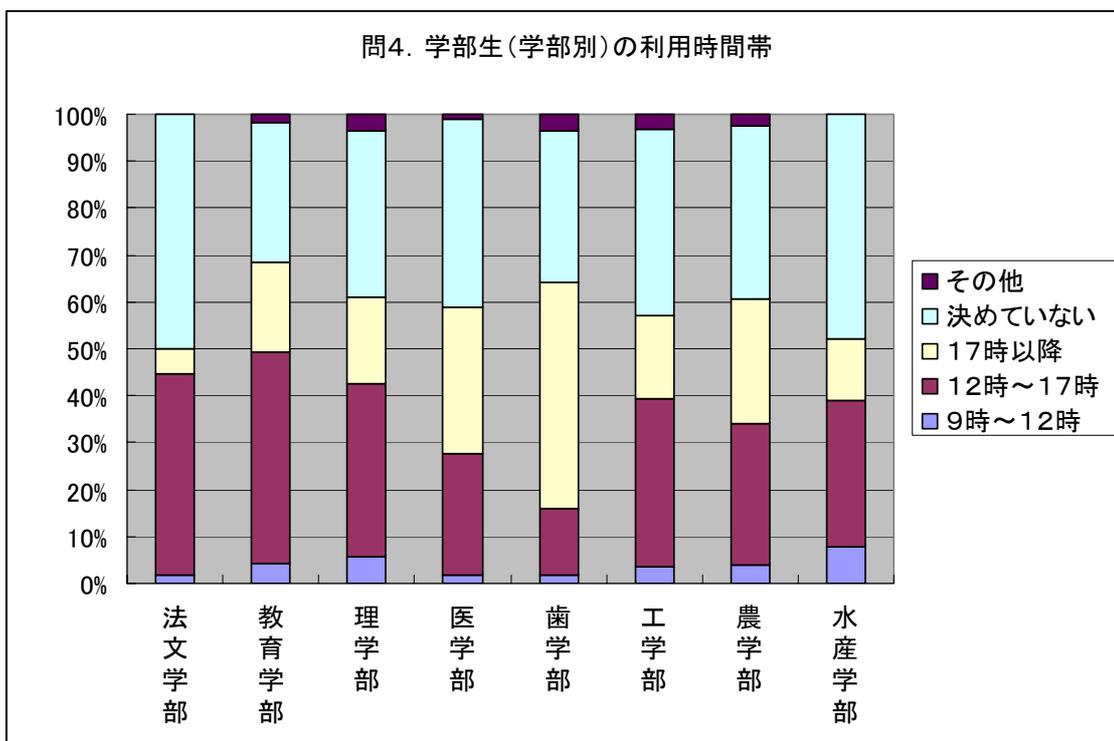
水産学部キャンパス：日曜日の開館希望、土曜日、休業期の開館時間延長希望が多い。

以上のことから、各館に共通する事案と固有のものとを区別して、それぞれに適した対策を検討する必要がある。

(3) 問4 あなたが図書館を利用する時間帯を教えてください

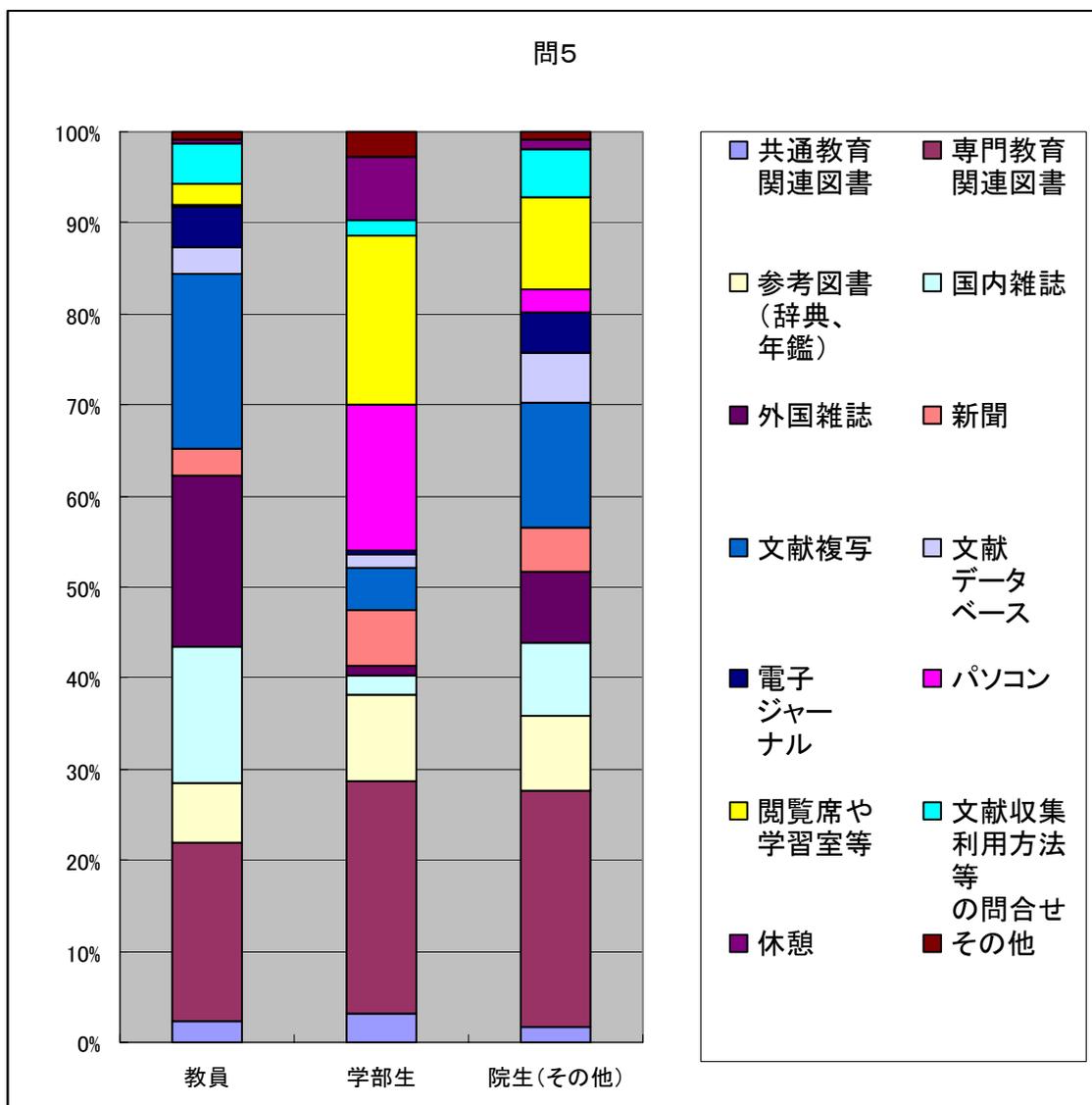


① 利用時間帯は多い順に「特に決めていない」41.1%、「12時から17時」32.2%、「17時以降」20.8%と続き「9時から12時」3.8%の利用が最も少ないのは予想通りであるが、3.8%は想像以上に低い結果であった。



②17時以降と回答した学部生の内、医学部及び歯学部の割合は他学部平均の2倍以上であるがこれはカリキュラムと密接に関係していると思われる。

(4) 問5 あなたが図書館を利用する主な目的は何ですか。頻度の高いものを3つまで記入してください



①利用目的は身分により多少ことなり、身分毎のトップ3は次のとおりである。

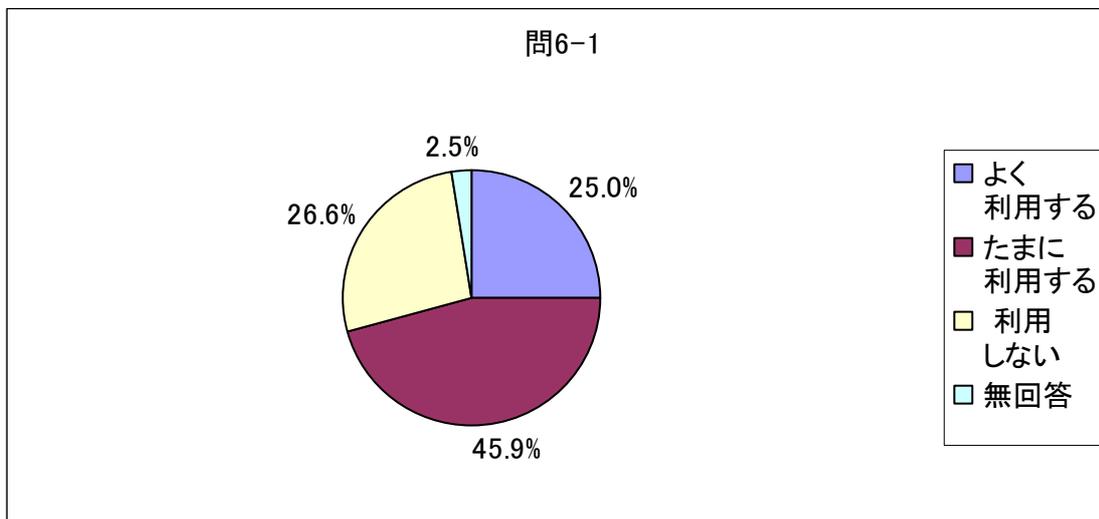
教員：専門教育関連図書→文献複写→外国雑誌

学生：専門教育関連図書→閲覧席・学習室→パソコン

院生：専門教育関連図書→文献複写→閲覧席・学習室

このことから、専門教育関連図書は身分にかかわらず利用が多く、これを整備することはより多くの利用者ニーズに応えることになると推察されるので、整備に向けた検討を行う必要がある。

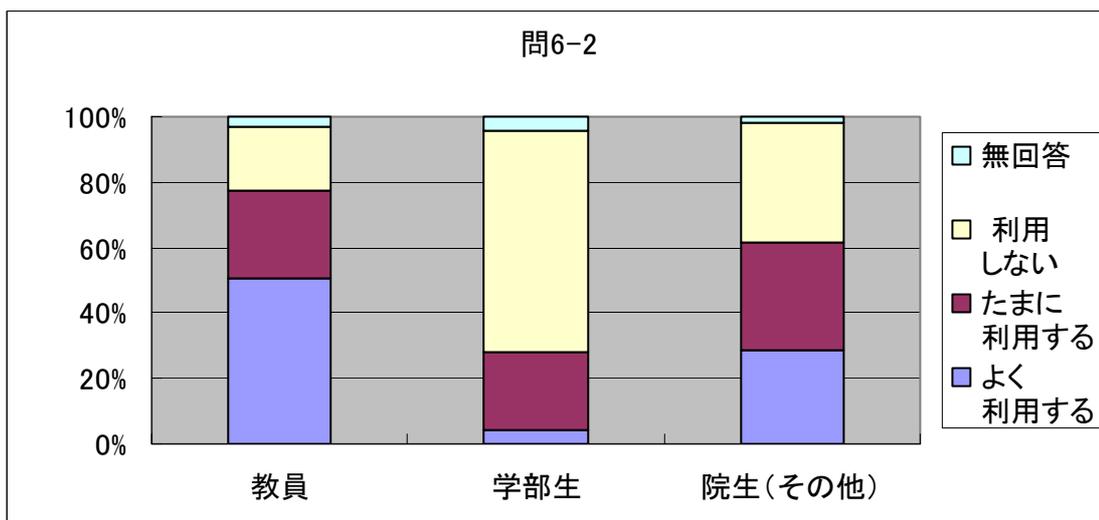
- (5) 問6 あなたはネットワークを介して図書館資料やサービスを利用していますか
問6-1 図書館蔵書検索 (OPAC)



① 「よく利用する」と「たまに利用する」と回答した割合が70.9%であり、身分別で利用割合が低い学部生でも利用するとした割合が63%と過半数を超えており、また、利用しない理由については63.4%が「必要ない」と回答していることから、全般的にはよく利用されている。

一方、サービス内容について「知らない」、「使い勝手が悪い」等と言った意見もあることから、更なるサービスの向上に向けた努力も必要である。

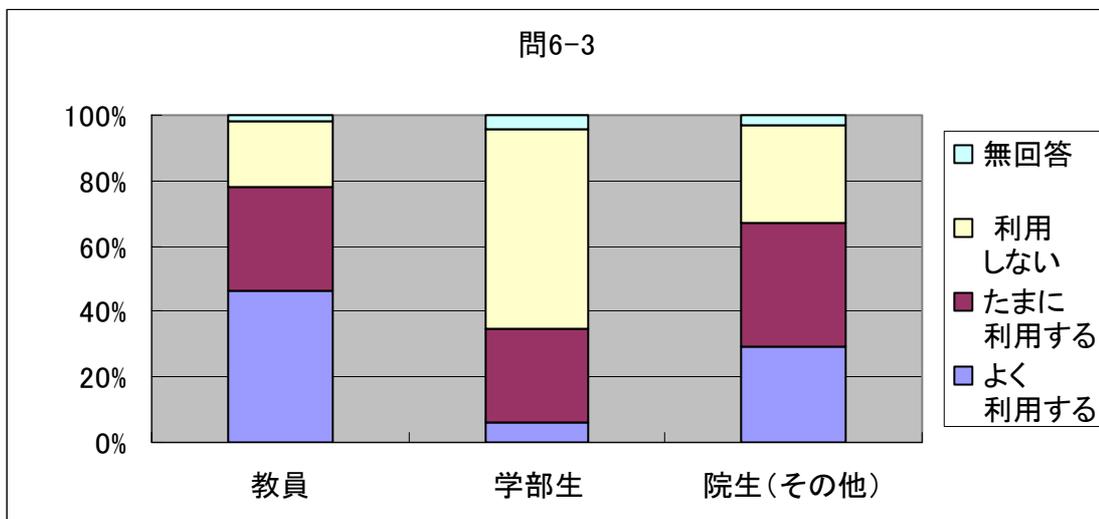
問6-2 電子ジャーナル



① 「よく利用する」と「たまに利用する」と回答した割合が教員 77.2%、院生 61.4%であることから、電子ジャーナルは教育研究活動に不可欠なものと判断される。

一方、学部生は利用するとした割合が28.1%と低い数値になっているが、電子ジャーナルが学術雑誌であることから利用するのは卒論が始まってからと判断される。

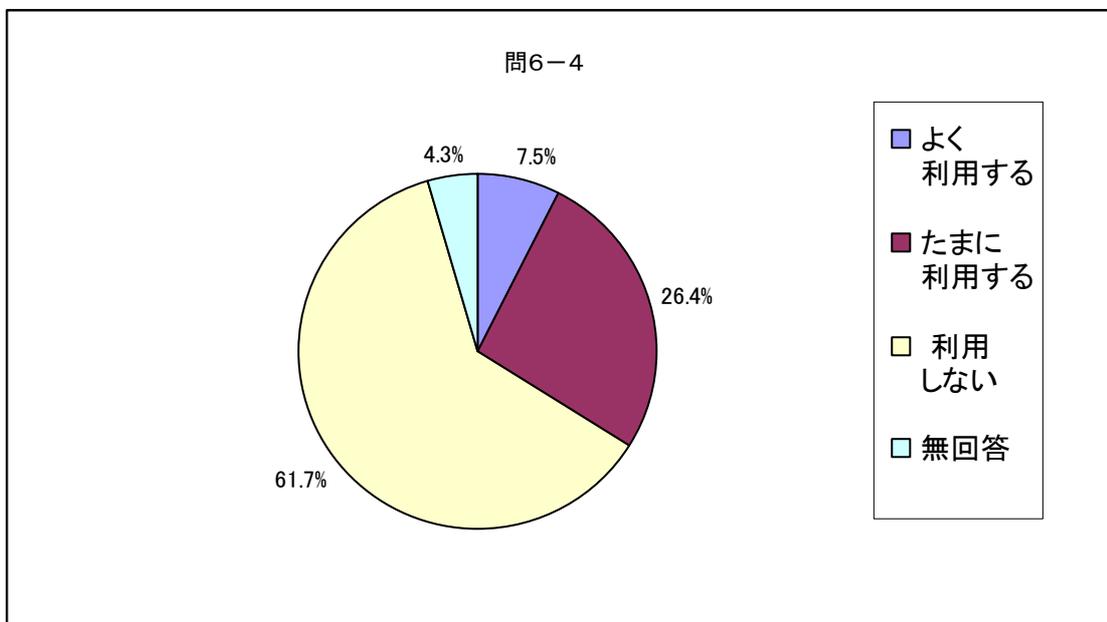
問 6-3 文献データベース



① 「よく利用する」と「たまに利用する」と回答した割合が教員 78.3%、院生 66.8% であることから、文献データベースは教育研究活動に不可欠なものと判断される。

一方、学部生は利用するとした割合が 35%と低い数値になっているが、文献データベースが学术论文の検索に利用するので卒論が始まってからと判断される。

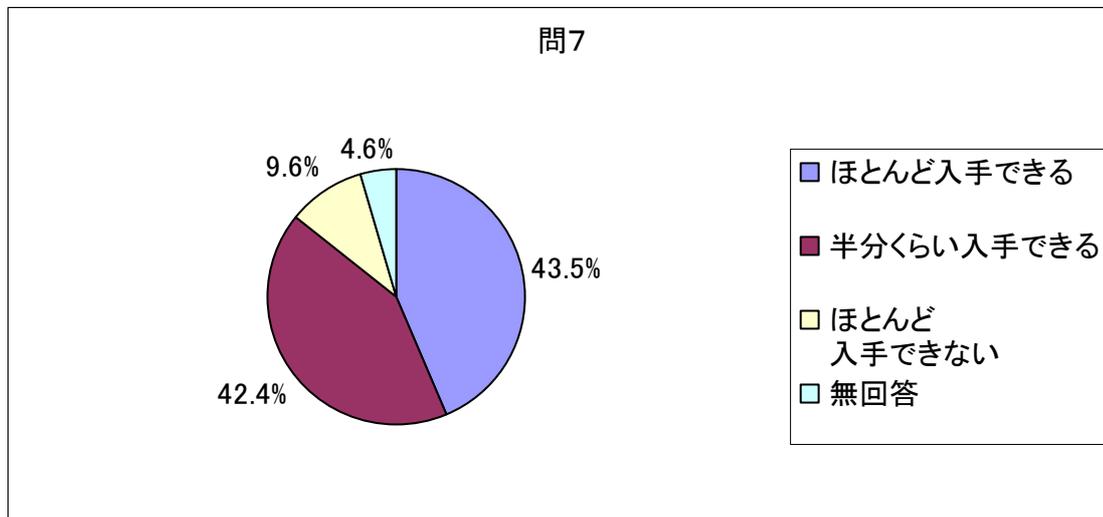
問 6-4 リクエストサービス (学外資料利用申込・購入図書申込等)



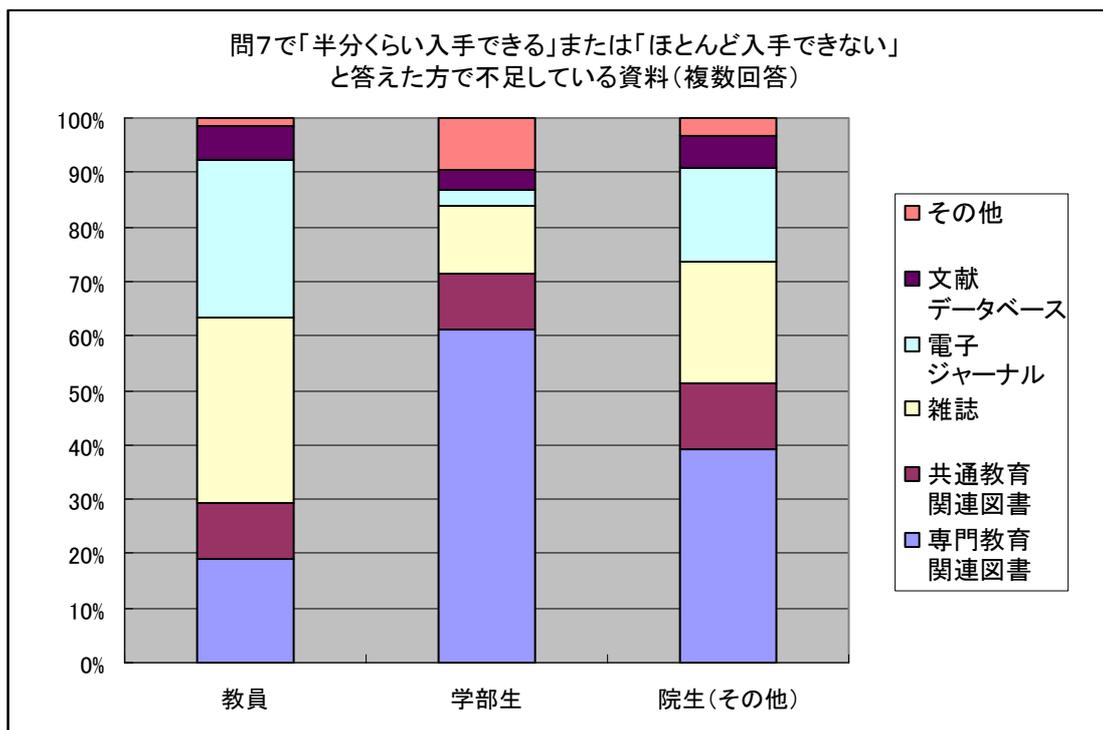
① 「利用しない」と回答した割合が 61.7%あるが、その理由の 58.9%が「必要ない」と回答していることから、サービス内容については概ね問題がないと判断される。

一方、サービス内容について「知らない」、「わからない」等と言った意見もあることから、更なるサービスの向上に向けた努力も必要である。

(6) 問7 あなたが探している資料や情報は、図書館サービスでどれくらい入手できますか



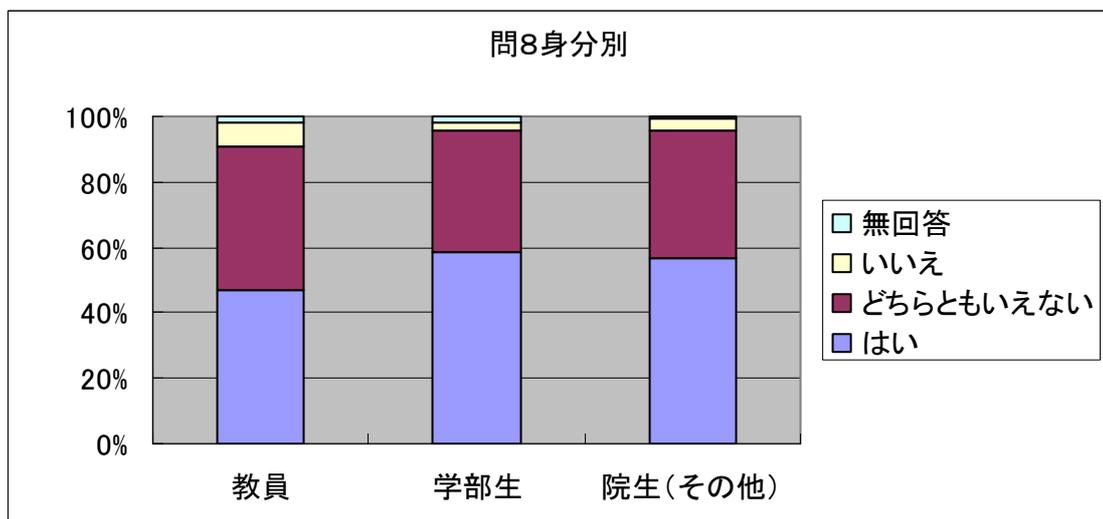
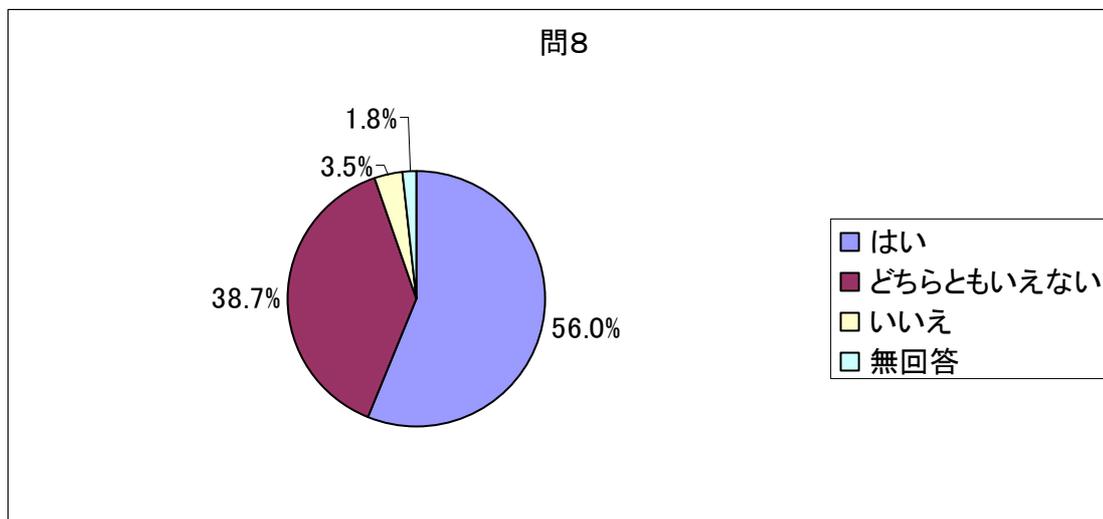
① 「ほとんど入手可能」と回答した割合が43.5%と低いことから不足している資料の充実に向けた検討が必要である。



② 「半分くらい入手できる」、「ほとんど入手できない」と回答した人のうち、全体的には47%が専門教育関連図書が不足と回答していると回答しており、特に学部生は61.1%が不足していると回答していることから、これを優先すべきである。

また、「問5. 利用目的について(来館利用者のみ)複数回答」では、教員、院生、学部生ともに専門教育関連図書の利用がトップであることから、教員、院生のニーズも探りながら整備していく必要がある。

(7) 問8 あなたは、「図書館の資料が系統的に整備されている」と思いますか

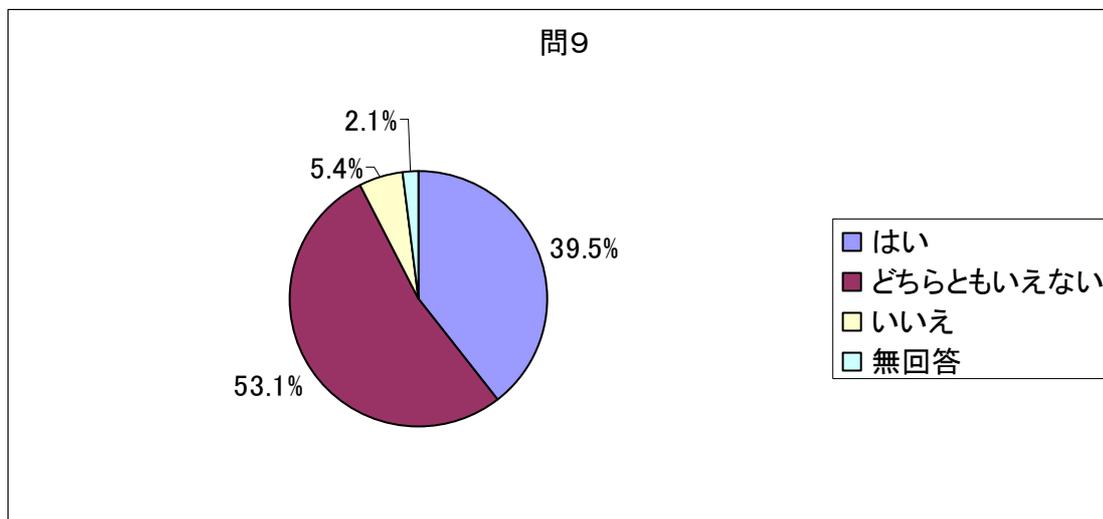


①全体的には、「はい」と回答した割合が 56%で「いいえ」と回答した割合が 3.5%であること、また、教員については、「はい」と回答した割合が過半数に達してはいないが、教員の中でも「はい」と回答した割合が 46.9%と最も高く、「いいえ」と回答した割合は 6.9%に過ぎないことから、現状において、概ね整備されていると判断される。

②「いいえ」と答えた人の具体的な理由 (66 人中 56 人が記入) は、利用案内や配置場所の説明不足に関することと充実すべき (不足している) 資料に関することであることから、引き続き資料の配架方法や利用案内の改善そして専門図書の整備等に努力していく必要があると思われる。

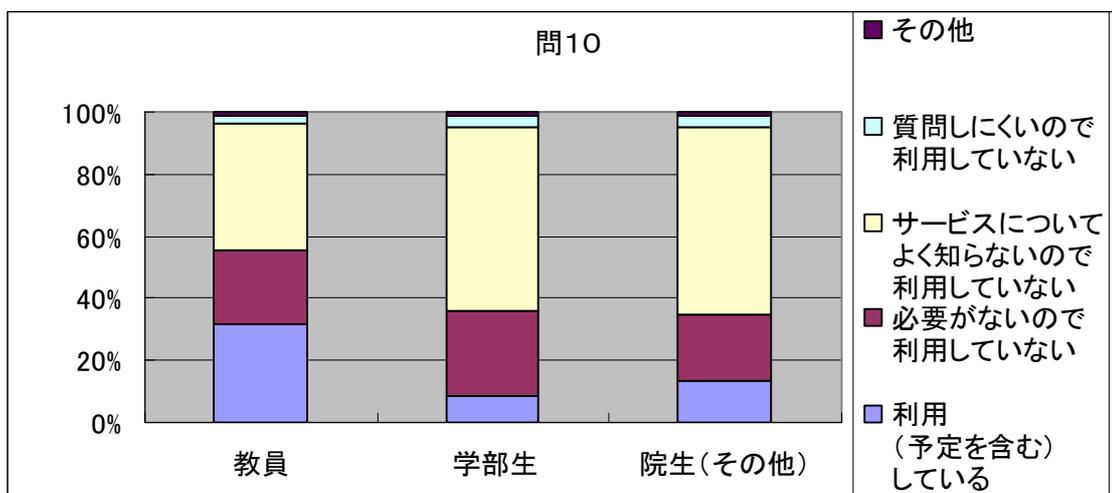
③問7 図書館資料の入手度に関する質問との関連性について分析したところ、「はい」と答えた内の約 90%の人が、図書館資料がほとんど又は半分くらい入手できると答えていることから、「図書館資料の入手度合い」が系統的整備の判断材料になっていると推察される。

(8) 問9 あなたは、「図書館の資料やサービスが有効に活用されている」と思いますか



①全体的には、「はい」と回答した割合が40%弱と少なく、また、「いいえ」(5.4%)と答えた人の具体的な理由の3割(26/86件)が「サービスの内容や利用方法を知らない又は説明不足」と指摘していることから、現状において、「図書館の資料やサービスが有効に活用されている」とは言い難く、図書館サービスに関する広報を強化する必要がある。

(9) 問10 参考調査を利用していますか



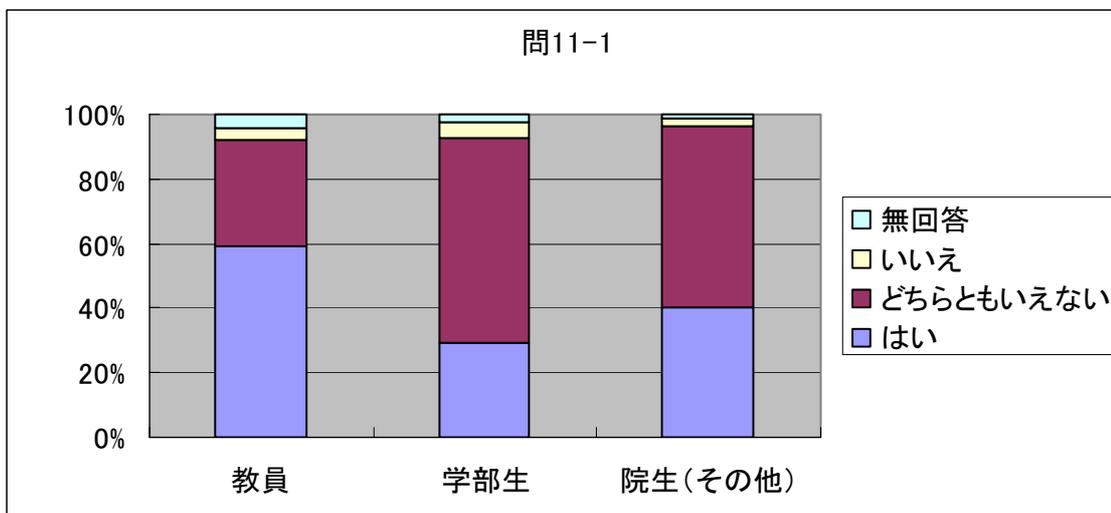
①「サービスについてよく知らないので利用していない」と回答した割合が全体の半数以上あり、とりわけ、学生（学部生 57.2%院生 59.8%）の6割弱を占めることから、先ず、図書館利用者に対し「参考調査」について認識、理解してもらう必要がある。

②学生（学部生及び院生）について、その所属学部や研究科を調査したところ、学部生については全ての学部で、また、院生についても大半の研究科で「サービスについてよく知らないので利用していない」と回答した割合が他の回答を圧倒していること及び「その他」と回答した人の意見においても、「知らない」、「知らなかった」とする内容が多数あることから、「図書館利用案内」に掲載して利用者へ配布する等全般的、網羅的な広報を行なう必要がある。

③教員については所属により状況が異なり、所属別では、「利用（予定を含む）している」と「サービスについてよく知らないので利用していない」とが拮抗していることから、教員の状況に応じた案内や授業との関連性に着目した広報が重要であり、例えば、「図書館協力教員制度」などを設けて教員の協力を求めることも検討する必要がある。

(10) 問 11 あなたは図書館サービスについてどのように感じていますか

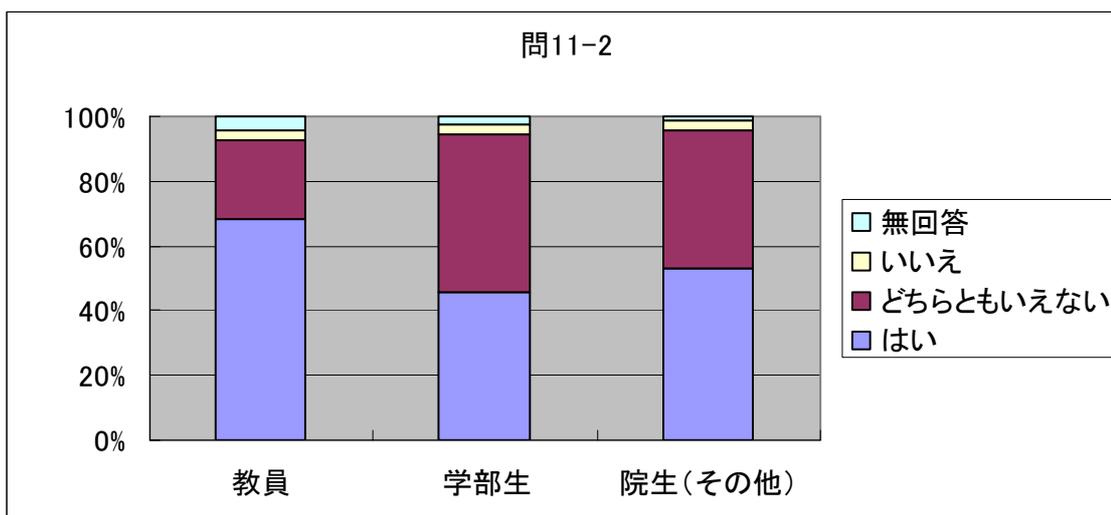
問 11-1 職員はすすんで援助・手助けしてくれる



① 「はい」と回答した割合が教員 (58.9%)、院生 (40.2%) であり、概ね好評と判断できるが、一方で、「どちらとも言えない」と回答した割合が院生 (56%)、学部生 (64%) と多いことから、現状では、学生の受動的な姿勢から積極的に図書館職員の援助を求めなかったことによるものと推察される。

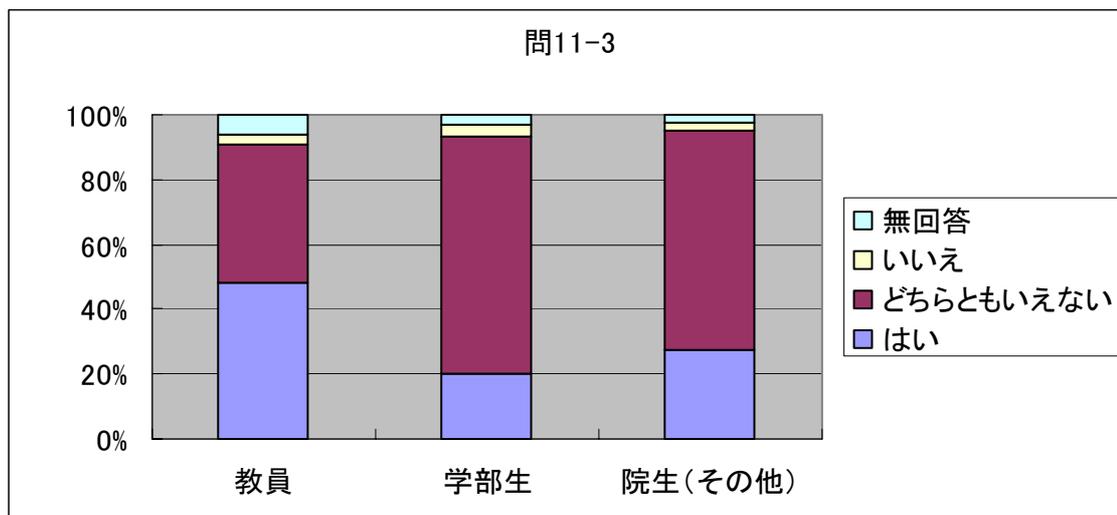
従って、図書館職員からの学生への積極的な支援・働きかけについて検討する必要があり、例えば、「相談コーナー」や「アドバイザー」などの設置が考えられる。

問 11-2 職員の対応は親切である



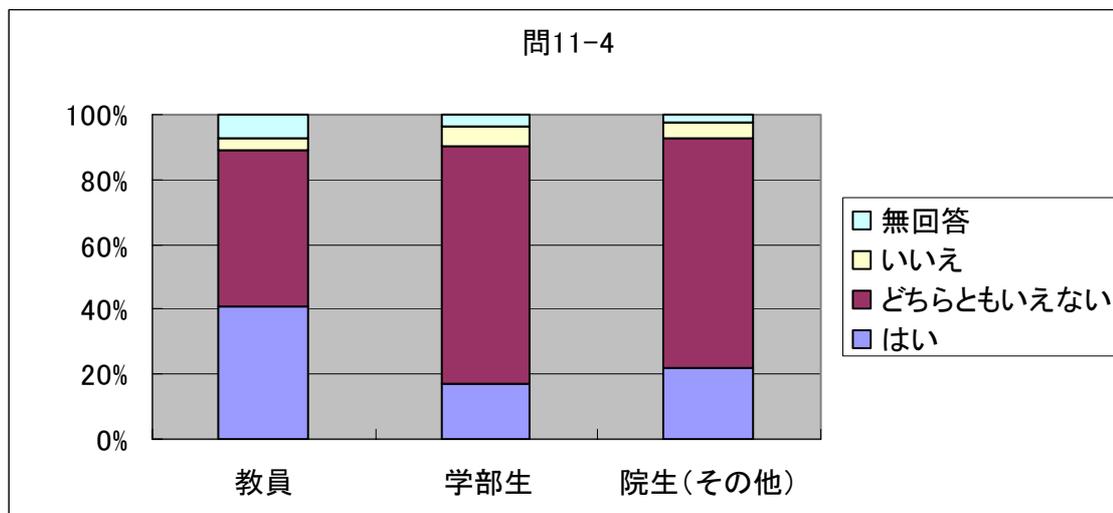
① 「はい」と回答した割合が教員 (68.3%)、院生 (52.8%)、学部生 (45.9%) であり、概ね好評と判断できる。また、前問 (11-1) と比較して「はい」と回答した割合が増加していることから、利用者の方から図書館職員に能動的に接触した場合は、職員の対応が親切・丁寧であったことがうかがえる。

問 11-3 職員は課題解決の際、資料面での援助をしてくれる



① 「どちらとも言えない」と回答した割合が教員（43.1%）、院生（67.4%）、学部生（72.8%）と多数を占めることから、本サービスについては利用者が利用していないと判断されるが、一方で、「資料面での援助の必要性」の状況については問うていないので、次回はこの点も含めて調査することにより、より正確な実態把握が可能になると推察される。

問 11-4 必要に応じてガイダンスや利用説明会が受けられる



①「どちらとも言えない」と回答した割合が教員（47.7%）、院生（70.6%）、学部生（73.3%）であり、学生については7割強を占めること及び「いいえ」と回答した人の不満な点として、「本サービスについて知らなかった」とする内容が多いことから、本サービスについては利用者の認知度が低いと判断されるので、全般的、網羅的な広報を行なう必要がある。

特に、学部生についてはその所属学部を調査したところ、全ての学部において「どちらとも言えない」と回答した割合が他の回答を圧倒していることから、例えば、学部オリエンテーション等の中に「図書館ガイダンス」を組み入れて実施することも検討する必要がある。

4. あとがき

鹿児島大学の認証評価資料作成の必要からアンケートを実施した。図書館への質問、要望などをWebや館内に記入様式を設置していつでも受け付けているが、記されることは少ない。したがって、このようなアンケートによる調査が必要であり、その回答を研究して迅速に必要な措置をとることが肝要である。

アンケート結果をみると、西欧諸国の大学に較べて利用頻度がかなり低いように思われる。その理由の過半が「必要ない」とのことであるが、「必要ない」の理由には、①学術資料による調査を必要としない教育が行われていること、②必要資料の不足のために図書館での調査をあきらめていることなどが背景にあるものと推察される。

①については、日常的にレポート提出を課して自学自習することを厳しく問う授業は日本では少ないようである。学則第10条によれば「1単位の講義には45時間の学習を必要とする」ので、毎週1時間で15週の講義に対して2倍の時間の予習復習を実施しなければ単位を取得できないことになる。このことが内実をともなつて実施されるときには、図書館の必要度は増すものと思われる。

②については、専門学習資料のための予算確保が必要であるが、一方、不足資料をその都

度登録して優先的に設置する、研究室貸出資料の中の必要の高い資料を中央図書館に移管する等の工夫が必要であろう。

図書館が有用で、必要なものとなる工夫が求められているものと思われる。

このアンケートの分析・評価結果を分析して、附属図書館運営委員会で必要な措置を立案・計画し、図書館で迅速に実施する必要がある。

No. xx - xxxx (Web で回答する場合、転記してください)

附属図書館の利用等に関するアンケート調査

附属図書館自己評価委員会

この調査は、附属図書館の利用等に関する自己点検・評価を行うための基礎資料を得ることを目的として行うものです。

全学の教員及び、学部学生、研究科生、研究生、聴講生、専攻生の中からあなたに回答をお願いすることになりました。調査結果はこの目的以外には使用しませんので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださるようお願いいたします。

図書館の運営等に役立つ意見をお寄せください。採用された方(左上の番号を図書館に掲示)には、記念品を差し上げます。

アンケート用紙は10月 日()までに所属学部等の学生(担当)係へ提出して下さい。

このアンケートは、図書館ホームページ(URL: <http://www.lib.kagoshima-u.ac.jp/>)から回答することもできます。その場合、左上のNo. をWeb上に転記し、入力・送信してください。

以下、回答は、設問ごとに該当する選択肢に○印を記入してください。

1. 所属等について

問1 あなたの所属等についておたずねします。 留学生の方はチェックしてください。

学 生	学 部 生	1. 法文学部	2. 教育学部	3. 理学部	4. 医学部	5. 歯学部				
		6. 工学部	7. 農学部	8. 水産学部	9. その他					
	学 年	1. 1年生	2. 2年生	3. 3年生	4. 4年生	5. 5年生	6. 6年生			
	院 生	1. 司法政策研究科(法科大学院)	2. 人文社会科学研究科	3. 教育学研究科	4. 理工学研究科	5. 保健学研究科	6. 農学研究科	7. 水産学研究科	8. 医歯学総合研究科	9. 連合農学研究科
	その他	1. 研究生	2. 聴講生	3. 専攻生						
教 員	職 名	1. 教授	2. 助教授	3. 講師	4. 助手	5. その他				
	年 齢	1. 20代	2. 30代	3. 40代	4. 50代	5. 60代				
	専 門 分 野	1. 法学	2. 経済学	3. 人文科学	4. 教育学	5. 理学	6. 医学	7. 歯学	8. 工学	9. 農学
		11. 水産学	12. 複合領域	13. その他						

2. 本学附属図書館(以下「図書館」という。)の利用について

ここでは、あなたが直接図書館に来て利用する場合についてのみお聞きします。

(利用頻度)

問2 あなたはどれくらいの頻度で図書館を利用していますか。

1. ほとんど毎日
2. 週に2, 3回
3. 週に1回
4. 月に1, 2回
5. 年に数回
6. ほとんど利用しない

* 5または6と答えられた方に伺います。図書館を利用されない理由を具体的に記入し、問6以降にお答えください。

理由 1. 必要がない 2. その他(具体的に _____)

(利用時間)

問3 現在の開館日・開館時間についておたずねします。(来館利用者のみお答えください)

	中央図書館	水産学部分館	桜ヶ丘分館
平日	9:00~20:00		9:00~21:00
平日(休業期)	9:00~17:00		
土曜日	10:00~17:00(休業期:休館)		10:00~18:00
日曜日	10:00~17:00 (休業期:休館)	休館	
祝日・年末年始等	休館		

1. 満足
2. どちらとも言えない
3. 不満 (不満の理由と、改善すべき点を具体的に記入して下さい)

問4 あなたが図書館を利用する時間帯を教えてください。(来館利用者のみお答えください)

1. 主に9時から12時まで
2. 主に12時から17時まで
3. 主に17時以降
4. 特に決めてはいない

(利用目的)

問5 あなたが図書館を利用する主な目的は何ですか。頻度の高いものを3つまで記入してください。(来館利用者のみお答えください)

1. 共通教育関連図書の利用
2. 専門教育関連図書の利用
3. 参考図書(辞典、年鑑など)の利用
4. 国内雑誌の利用
5. 外国雑誌の利用
6. 新聞の利用
7. 文献複写
8. 文献データベースの利用
9. 電子ジャーナルの利用
10. パソコンの利用(インターネットやワープロソフト等)
11. 閲覧席や学習室等の利用
12. 文献収集、利用方法等の問い合わせ
13. 休憩
14. その他(下欄に具体的に記入してください)

3. 図書館の資料やサービスについて

ここでは、あなたが図書館内でまたはネットワーク上で図書館サービスを利用する場合についてお聞きします。

(ネットワーク上のサービス)

問6 あなたはネットワークを介して図書館資料やサービスを利用していますか。

図書館では、利用案内、蔵書検索、電子ジャーナル、文献データベース、リクエストサービス(図書購入申込・学外資料利用申込等)など提供しています。

裏面をお願いします →

1) 図書館蔵書検索(OPAC)

1. よく利用する 2. たまに利用する 3. 利用しない方にその理由をうかがいます。

①必要ない ②その他(理由) _____

2) 電子ジャーナル

1. よく利用する 2. たまに利用する 3. 利用しない方にその理由をうかがいます。

①必要ない ②その他(理由) _____

3) 文献データベース(Web of Knowledge, SCOPUS, ASFA, MathSci, 医学中央雑誌など)

1. よく利用する 2. たまに利用する 3. 利用しない方にその理由をうかがいます。

①必要ない ②その他(理由) _____

4) リクエストサービス(学外資料利用申込・購入図書申込等)

1. よく利用する 2. たまに利用する 3. 利用しない方にその理由をうかがいます。

①必要ない ②その他(理由) _____

(図書館資料)

問7 あなたが探している資料や情報は、図書館サービスでどれくらい入手できますか。

1. ほとんど入手できる
2. 半分くらい入手できる
3. ほとんど入手できない

※ 2 または 3 と答えられた方に伺います。不足しているものを教えてください。(複数回答可)

1. 専門教育関連図書
2. 共通教育関連図書
3. 雑誌
4. 電子ジャーナル
5. 文献データベース
6. その他(下欄に具体的に記入してください)
- _____

問8 あなたは、「図書館の資料が系統的に整備されている」と思いますか

1. はい 2. どちらとも言えない 3. いいえ(具体的に: _____)

問9 あなたは、「図書館の資料やサービスが有効に活用されている」と思いますか。

1. はい 2. どちらとも言えない 3. いいえ(具体的に: _____)

(参考調査)

参考調査とは、図書館や資料の使い方の案内、文献に関する調査、ある事柄に関する調査のことをいいます。

問10 参考調査を利用していますか。

1. 利用(予定を含む)している
2. 必要がないので利用していない
3. サービスについてよく知らないので利用していない
4. 質問しにくいので利用していない
5. その他(このことについてのご意見を下欄に記入してください)
- _____

